

【バージョンアップ】 統合開発環境 e² studio 2023-01

R20TS0897JJ0101
Rev.1.01
2023.01.16号

概要

統合開発環境 e² studio を 2022-10 から 2023-01 へバージョンアップします。

主な機能改善・変更は以下になります。

- Eclipse platform バージョンの更新
- 新バージョンのコンパイラ(CC-RX V3.05.00, CC-RL V1.12.0, CC-RH V2.05.00)に対応
- RL78/F23 グループに対応
- スマート・コンフィグレータの新バージョン(for RX 2.16.0, for RL78 1.5.0)に対応
- CC-RH プロジェクトに関するビルド機能の改善
- RA ファミリに関するデバッグ機能の改善
- RH850/U2A グループのデバイスファイル更新

製品の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

1. アップデート対象バージョン

- e² studio 2020-04 から 2022-10 までの各バージョン
e² studio のバージョンは、e² studio のメニュー「ヘルプ」から、「e² studio について」を選択すると開くダイアログに表示されます。

2. バージョンアップ内容

主なバージョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。
リリースノートは e² studio 製品ページの「ドキュメント」に掲載されます。
(1月20日から公開予定)

<https://www.renesas.com/jp/ja/search?keywords=R20UT5248>

2.1 新規機能、機能改善

以下の機能につき改善および変更を行いました。

改善内容の詳細は前述のリリースノートの"What is new in 2023-01?"をご参照ください。

2.1.1 eclipse プラットフォームのバージョン更新

eclipse の新しいバージョンが適用されます。
詳しくは www.eclipse.org より、以下の資料をご参照ください。

e ² studio バージョン	2022-10	2023-01	
eclipse	4.24 (2022-06)	4.25 (2022-09)	Eclipse Project 4.25
CDT	10.7.0	10.7.0	eclipse Wiki – New in CDT 10.7

2.1.2 新バージョンのコンパイラ製品に対応

e² studio 2023-01 では以下の新しいコンパイラバージョンに対応します。

- RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ (CC-RX) V3.05.00
- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ (CC-RL) V1.12.00
- RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ (CC-RH) V2.05.00

各コンパイラを使用したプロジェクトの作成、ビルド、デバッグが可能になります。

2.1.3 新デバイス対応

RL78/F23 グループのサポートを追加します。

対象のデバイスでプロジェクト作成、ビルド、デバッグ機能が利用できます。

2.1.4 スマート・コンフィグレータ新バージョン対応

以下のスマート・コンフィグレータにつきそれぞれ新しいバージョンに対応します。詳細についてはそれぞれのリリースノートをご参照ください。

- スマート・コンフィグレータ for RX 2.16.0

FIT モジュールコード内の任意の場所に /* Start user codes */、 /* End user codes */ で囲まれたブロックを追加するとその中にユーザコードを自由に記述することが可能になります。

RX 以外のスマート・コンフィグレータについては今後のバージョンで順次対応します。

- スマート・コンフィグレータ for RL78 1.5.0

対応デバイスを追加します。RL78/F23 グループでもスマート・コンフィグレータが利用可能になります。

2.1.5 CC-RH プロジェクトにおけるビルダ機能改善

プロジェクト作成機能がマルチコアデバイスでも利用可能になります。

コア数分のベクタテーブルを持つ単一プロジェクトとして作成しますが、コア別にプロジェクトを作り分ける機能については今後のバージョンでの対応を予定しています。

2.1.6 RA ファミリに関するデバッガの機能改善

Vector Catch 機能が追加されます。

Event Point ビューであらかじめ Vector Catch を有効にする例外の種類を指定しておけば、

例外の検知時、例外に対応するイベントハンドラの先頭(ハンドラのコードが実行される直前)でブレークします。Fault Status ビューと併用すれば例外発生の要因を絞り込むのに役立ちます。

3. アップデート方法

e² studio の製品ページ(下記の URL)からインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。(2023-01 は 1 月 20 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/e2studio>

インストーラは「ドキュメント&ダウンロード」の Downloads 欄内に掲載されております。

注意 1 : e² studio 2022-10 またはそれ以前のバージョンをお持ちの場合「アップグレード」による更新インストールを使わず新しい場所に e² studio 2023-01 をインストールしてください。
インストール先のフォルダパスに全角文字、半角カナ文字、および”_”(アンダースコア)以外の記号が含まれないようにしてください。

注意 2 : 本製品は 64 ビット版 Windows OS でご使用ください。
32 ビット版の Windows OS では動作しません。

注意 3 : RA ファミリ、RZ/A3UL、RZ/T2M および RZ/N2L グループ、Renesas Synergy™については、ソフトウェアパッケージが同梱されたインストーラをお使いください。以下のサイトより入手できます。

RA ファミリ : <https://github.com/renesas/fsp/releases>

RZ/A3UL グループ : <https://github.com/renesas/rza-fsp/releases>

RZ/T2M グループ : <https://github.com/renesas/rzt-fsp/releases>

RZ/N2L グループ : <https://github.com/renesas/rzn-fsp/releases>

Renesas Synergy™ : <https://www.renesas.com/software-tool/e-studio-renesas-synergy>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jan.16.23	-	新規発行
1.01	Jan.16.23	3	更新インストールに関する注意を記載

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。